

日本チュニジア外交関係樹立60周年 岸田大臣メッセージ

本年は、日本とチュニジア両国が外交関係を樹立して60周年の節目の年です。1956年以降、政府間及び民間レベルにおける数多くの出会い・交流を通じて、これまでに極めて良好な二国間関係が構築されてきたことを嬉しく思います。

ここ数年の間に、チュニジアを始めとする中東・北アフリカ地域は、大きな変動の時代を経験しました。とりわけ、チュニジアで生じた「自由と尊厳の革命」は、いわゆる「アラブの春」の嚆矢となる世界史的な出来事でした。その後、チュニジアでは、多数の国民の参画のもと、様々な改革が進められてきました。

他方、昨年、日本人を含む多数の無辜の人々が犠牲となる痛ましいテロ事件も残念ながら発生しました。このようなテロ事件が二度と起こらないよう、我が国は、チュニジアとともに、今後もテロ対策を進めて行く所存です。

チュニジアをはじめとする中東・北アフリカに跨る地域の平和、安定及び発展は、日本はもとより世界にとって重要です。日本は、現在チュニジアに生起しつつある新たな「社会的な結合」をよりよく、より安定したものとするために、我が国の技術・知見を積極的に活用しつつ貢献していくとともに、様々な分野における両国のパートナーシップ関係が一層強化されることを期待しています。

最後に、60年に亘る両国の友好のために、手を携えて歩んできた両国関係者の努力に改めて深い敬意を表するとともに、今後とも対話と協調を通じ、両国関係が更に発展していくことを祈念します。

平成28年6月26日

日本国外務大臣
岸田 文雄